

## □ 要請番号 (JL02621A20)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
東ティモール	I101 ソーシャルワーカー	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2022/2 ・2022/3

## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

社会連帯社会一体省

## 2) 配属機関名 (日本語)

ナショナルリハビリテーションセンター

## 3) 任地 (ディリ県ディリ) JICA事務所の所在地 (ディリ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

2005年にNGOとして設立、2013年に国の組織となった。職員数84名。当国唯一のリハビリテーションセンターで10部門から成る。義肢装具と車いす等の提供、理学療法と作業療法によるリハビリ訓練が可能である。2010年にはCBR部門が導入され、障害者がコミュニティの中で暮らしやすい支援を目指している。2014年からは地方への訪問診療が始まり、全土の障害者へのサービス提供を目指す。隊員派遣は2013年に始まり、これまで義肢装具士(福祉用具)、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士が派遣されてきた。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

独自のCBRガイドラインに基づきスタッフが配置されているが、実際には日々周辺の利用者送迎のほか、他課(理学療法、作業療法、義肢装具部門)との連携で地方訪問診療を行っている。しかし経験と知識の不足から、効果的な活動がまだできていない。CBRスタッフは大学のCBRコースで1年間学んだが、能力と実行力には限界がある。隊員の派遣により、本来あるべきCBRの本格的な導入を図ることを期待している。より多くの障害者を適切に効率的に支援していくため、関係者/団体とネットワークを築きながら、必要なニーズに対応し活動を展開していける人材が求められる。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.全体の助言役として、リーダーシップをもって、以下の活動を行う。
- 2.CBRガイドラインの導入から定着を支援する中で、CBRチームの組織力強化と能力向上を支援する。(①教育②保健③社会参加④エンパワーメント⑤自立生活、の5項目あり。)
- 3.保健省やNGO等の関連団体とのネットワーク構築、また広報活動等を通して、恩恵を受けられていない障害者への支援を広げる。同センターに対する知名度を上げることも重要である。
- 4.アウトリーチや家庭訪問を行う中で、コミュニティの村長や住民、家族、関係者とよく話し合い、それぞれのニーズを分析し、予算の範囲内で、地域ごとに必要とされる支援をアイデア豊かに考案し展開する。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

・地域の利用者をセンターまで送迎するための車両・当センターのCBRマトリックス(現地語のガイドライン)には各項目に活動内容と手法が記載されている

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:所長、副所長2名、全職員84名

・CBR部門7名:課長40代女性、スタッフ6名(男女20-40代、経験2-12年、身体障害者3名うち車椅子1名)

※活動対象者:治療やリハビリを必要とする地域の障害者、村長など地域のリーダー、CBRファシリテーター

## 5) 活動使用言語

テトウン語

## 6) 生活使用言語

テトウン語

## 7) 選考指定言語

### 【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（男性） 備考：出張時の便宜性から

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：即戦力となり助言  
できるため

[参考情報]：

- ・福祉制度の基礎知識
- ・社会福祉系分野での経験

### 任地での乗物利用の必要性

不要

### 【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（23～32℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

### 【特記事項】

CBRの知識はなくとも、ネットワークづくりを積極的にできる人を歓迎します。